

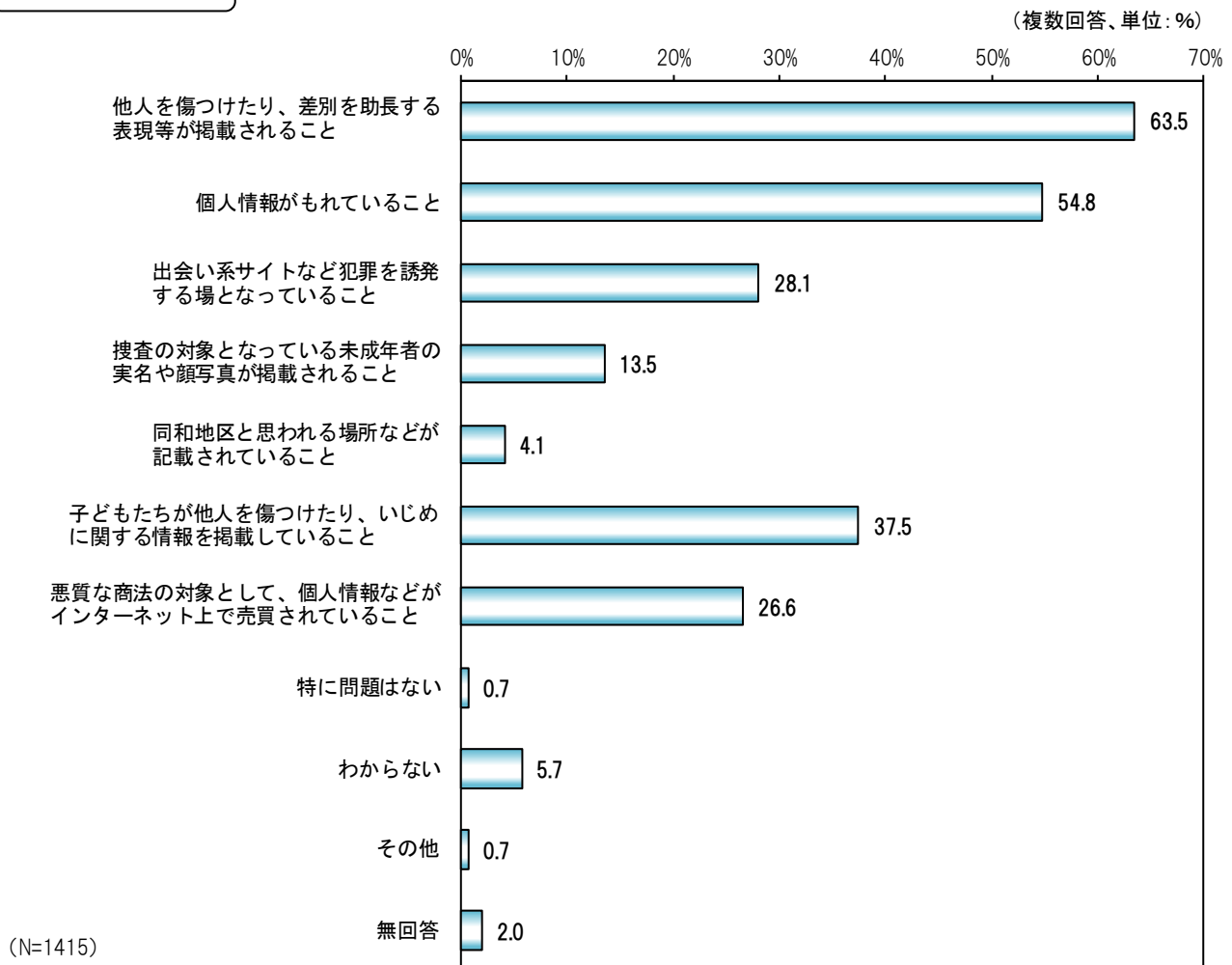
14. インターネット等における人権について

問32 情報化社会（インターネット等）における人権上の問題点

あなたは、現在の情報化社会（インターネット等）で、特にどのような人権侵害の問題が起きていると思いますか。次の中から選んでください。（〇は3つまで）

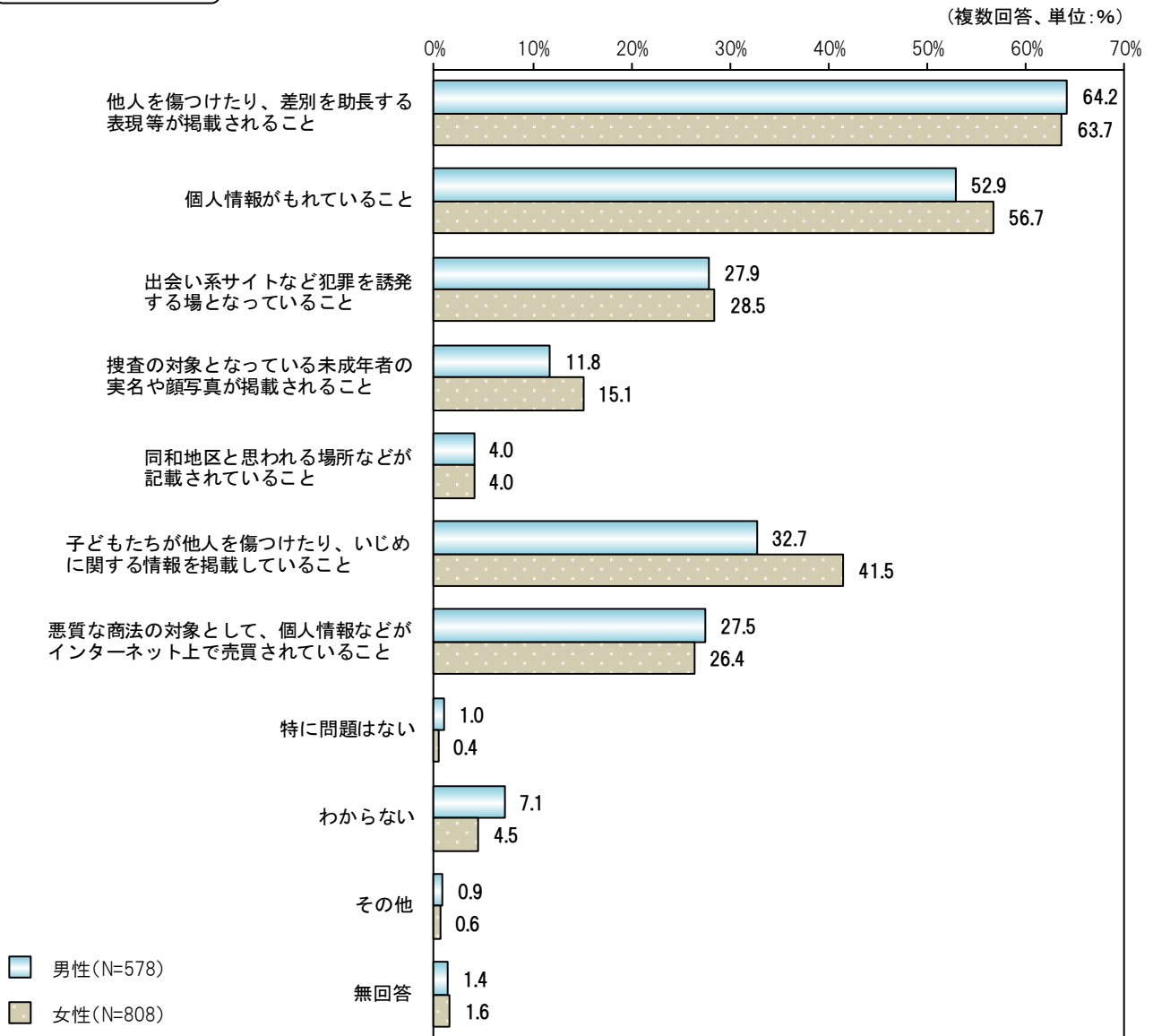
1. 他人を傷つけたり、差別を助長する表現等が掲載されること
2. 個人情報がもれていること
3. 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
4. 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること
5. 同和地区と思われる場所などが記載されていること
6. 子どもたちが他人を傷つけたり、いじめに関する情報を掲載していること
7. 悪質な商法の対象として、個人情報などがインターネット上で売買されていること
8. 特に問題はない
9. わからない
10. その他（ ）

全体集計



「他人を傷つけたり、差別を助長する表現等が掲載されること」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「個人情報がもれていること」が 54.8%、「子どもたちが他人を傷つけたり、いじめに関する情報を掲載していること」が 37.5%となっている。

性別集計

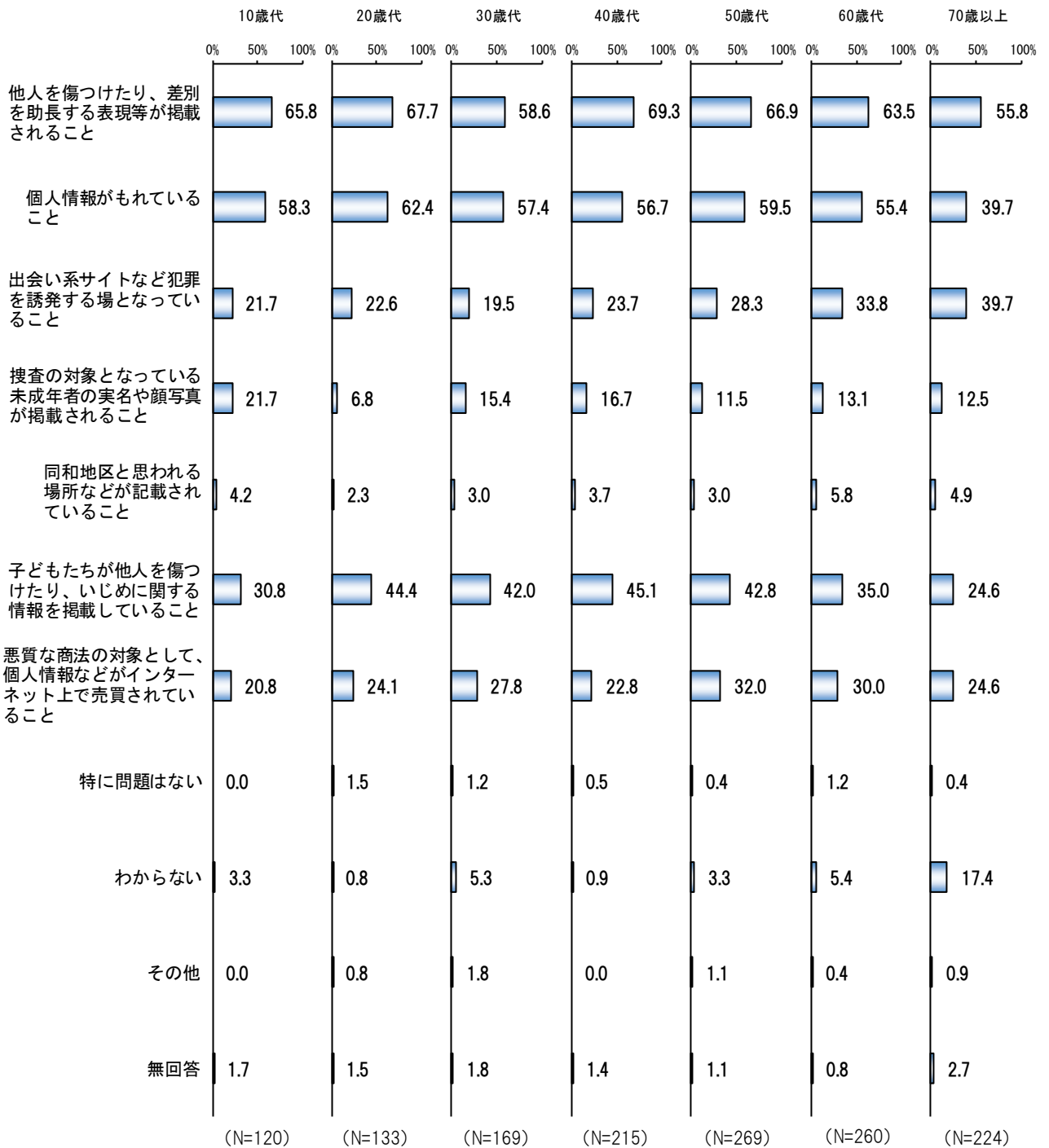


性別でみると、男女ともに「他人を傷つけたり、差別を助長する表現等が掲載されること」の割合が最も高く、次いで「個人情報がもれていること」、「子どもたちが他人を傷つけたり、いじめに関する情報を掲載していること」の順となっている。

「子どもたちが他人を傷つけたり、いじめに関する情報を掲載していること」が最も男女差が大きく、男性（32.7%）よりも女性（41.5%）の方が8.8ポイント高くなっている。

年齢別集計

(複数回答、単位：%)



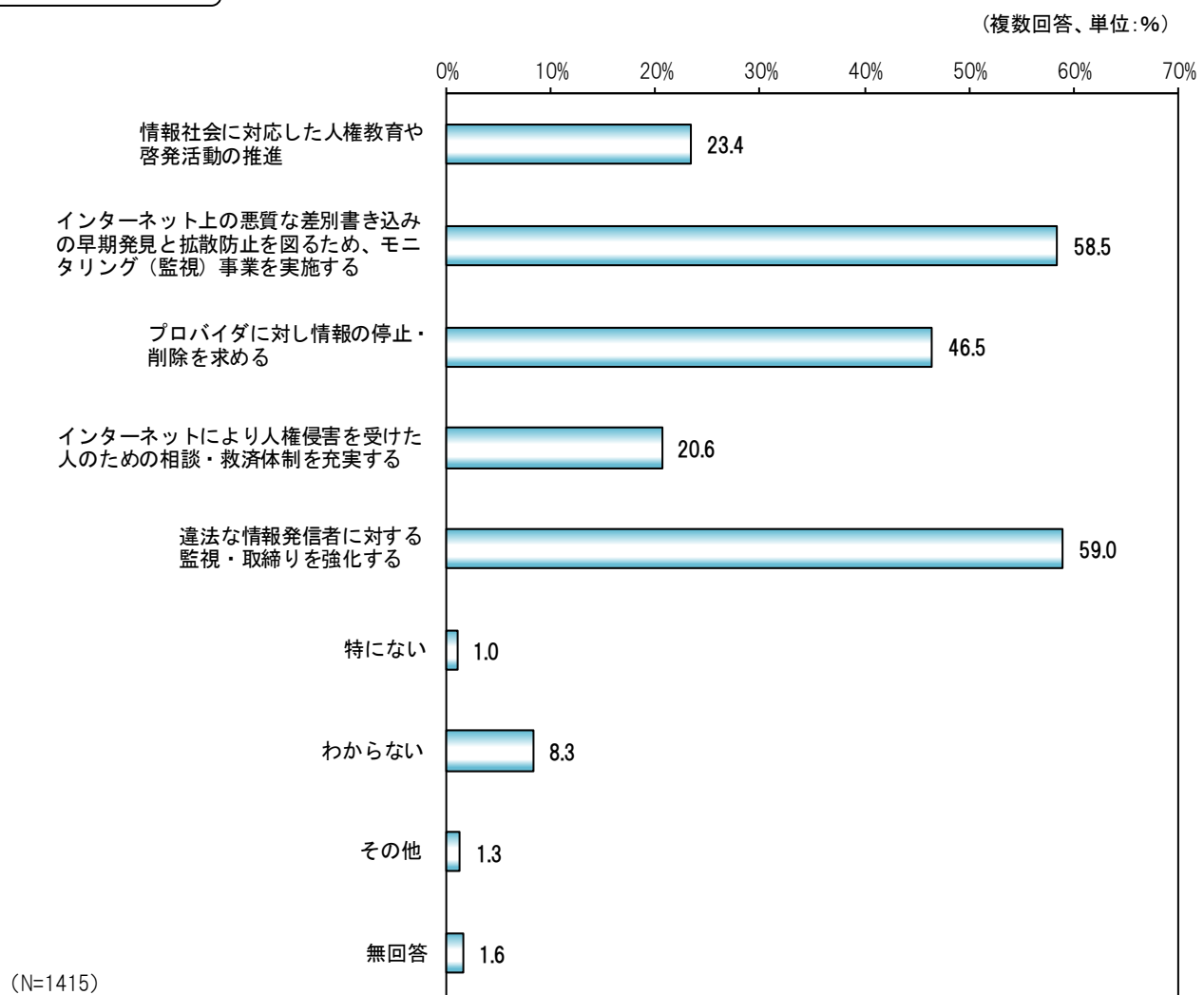
年齢別で見ると、すべての年齢層で「他人を傷つけたり、差別を助長する表現等が掲載されること」の割合が最も高くなっている。

問33 情報化社会（インターネット等）における人権侵害を解決するために必要なこと

あなたは、インターネット等による人権侵害を解決するために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。（〇は3つまで）

1. 情報社会に対応した人権教育や啓発活動の推進
2. インターネット上の悪質な差別書き込みの早期発見と拡散防止を図るため、モニタリング（監視）事業を実施する
3. プロバイダに対し情報の停止・削除を求める
4. インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談・救済体制を充実する
5. 違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する
6. 特にない
7. わからない
8. その他（ ）

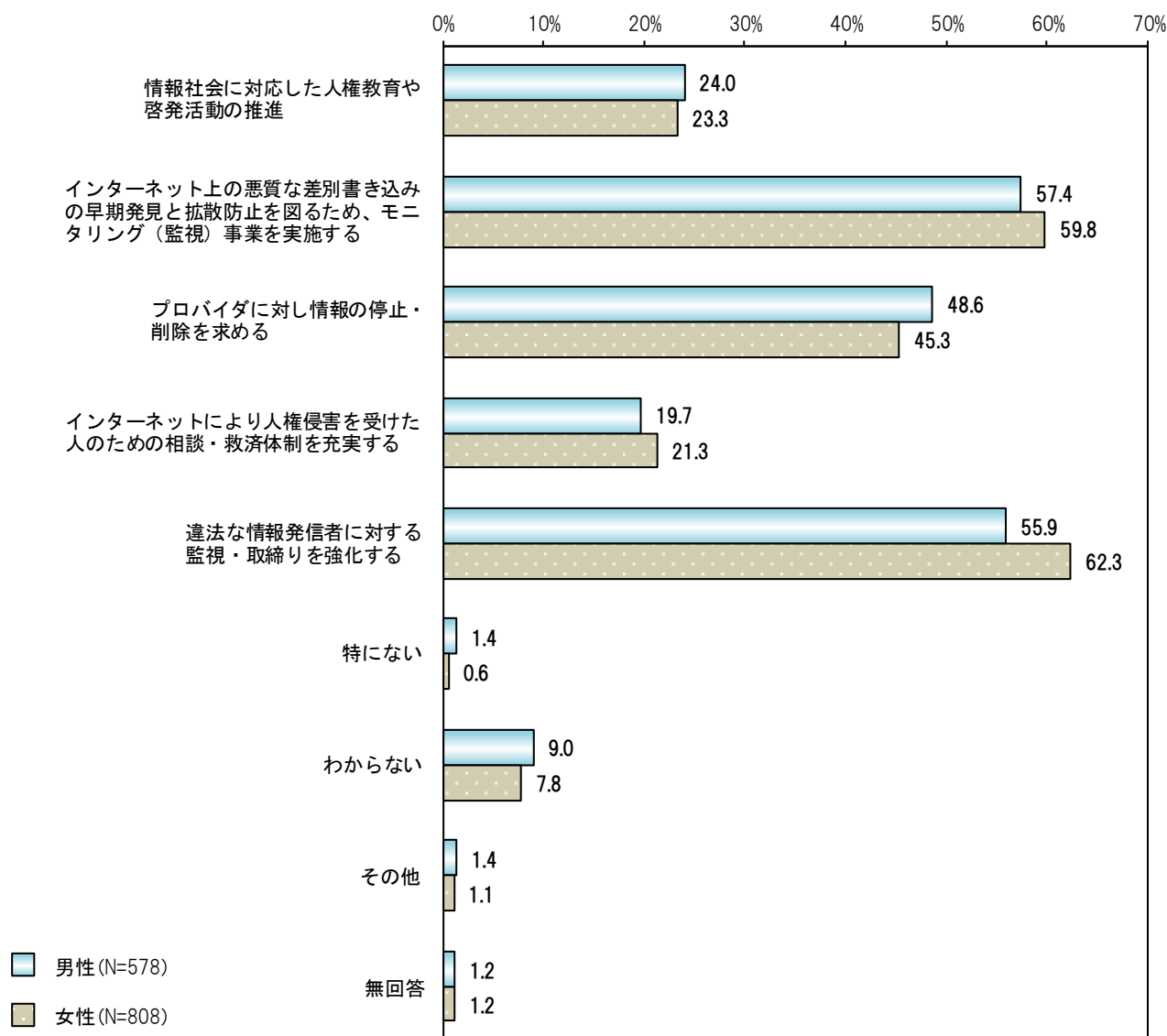
全体集計



「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「インターネット上の悪質な差別書き込みの早期発見と拡散防止を図るため、モニタリング（監視）事業を実施する」が 58.5%、「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」が 46.5%となっている。

性別集計

(複数回答、単位：%)

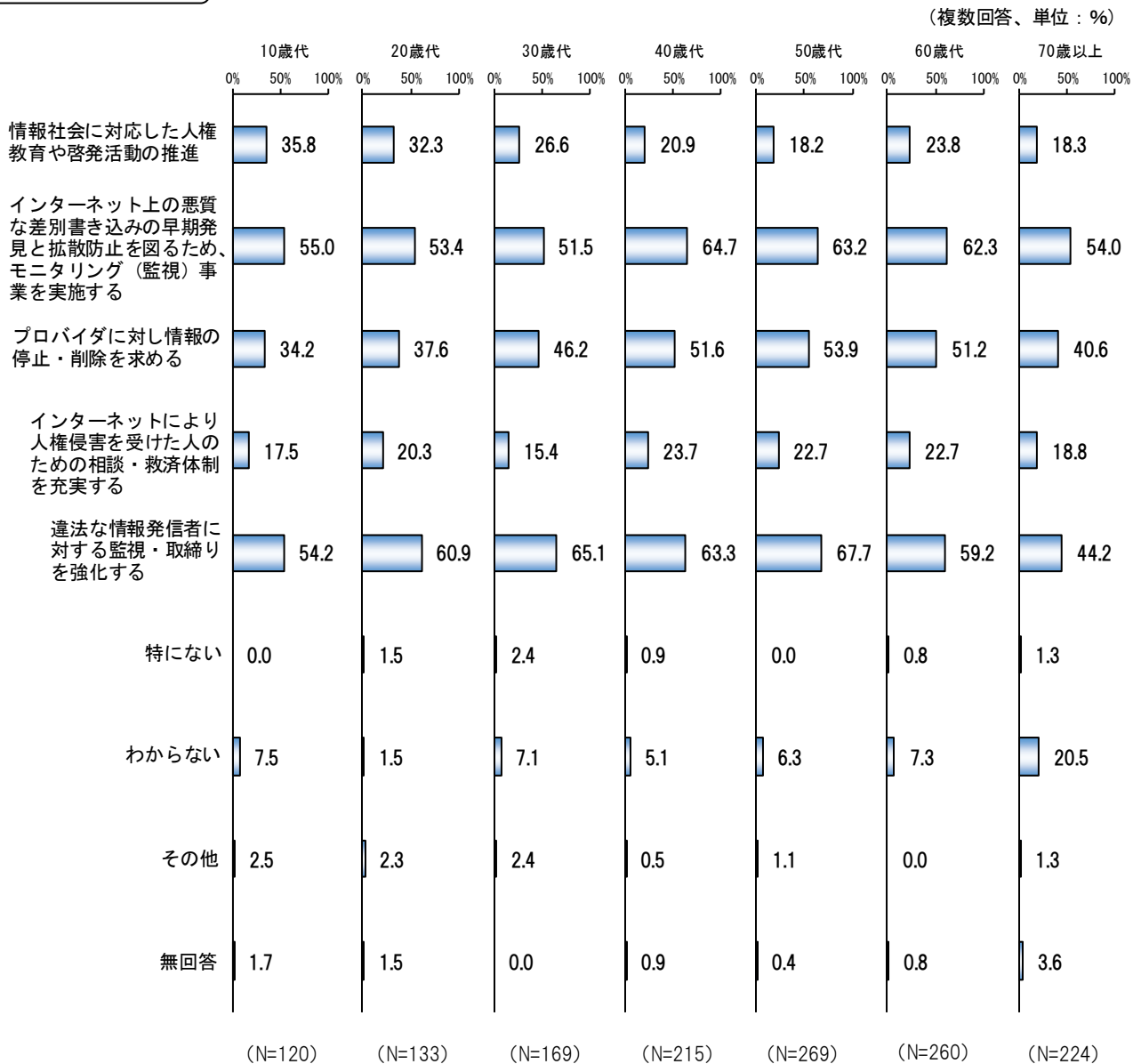


性別で見ると、男性は「インターネット上の悪質な差別書き込みの早期発見と拡散防止を図るため、モニタリング（監視）事業を実施する」の割合が最も高く、次いで「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」、「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」の順となっている。

女性は「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が最も高く、次いで「インターネット上の悪質な差別書き込みの早期発見と拡散防止を図るため、モニタリング（監視）事業を実施する」、「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」の順となっている。

「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が最も男女差が大きく、男性(55.9%)よりも女性(62.3%)の方が6.4ポイント高くなっている。

年齢別集計



年齢別でみると、10、40歳代、60歳代以上は「インターネット上の悪質な差別書き込みの早期発見と拡散防止を図るため、モニタリング（監視）事業を実施する」、20、30、50歳代は「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」の割合が最も高くなっている。